

WOC2022 代表選手選考について

2022年3月5日

JOA 強化委員会

韓国で開催が予定されていたアジア選手権大会（AsOC）がキャンセルとなり、2021年度の全日本スプリントも2022年5月までには開催されないことから、WOC2022代表選手選考方法について、改めてアナウンスする。

選考人数：男女各3名とする（IOF特別枠(*1)を除く）

選考対象：2022年アドバンス登録選手

選考方法：

a) 内定者 基準（注1）を満たした選手の中から男女各最大1名を内定することがある。

b) 4月3日開催の代表選考会 男女各1位

（内定者、及び、IOF特別枠で出場権を得た選手を除いた中での1位）

c) 強化委員会の推薦

選考会の結果を重視しつつ、強化指定のために設定した基準の実績を参考にして行う。

補欠も含めて、代表選考会后、1週間以内に公表する。

（注1）

表2に定める走力（標準1）を満たし、表3のいずれかの実績のあるもの

<表2> 走力標準（3000mTT、5000mTT のいずれかを満たすこと）

		標準1	標準2
女子	3000mTT	11:00	11:33
	5000mTT	19:00	19:57
男子	3000mTT	9:05	9:26
	5000mTT	15:35	16:12

<表3>

- ① 直近の WOC スプリント種目出場者
- ② 直近の全日本スプリント 1位
- ③ 強化委員会の指定大会 1位
- ④ スプリントワールドランキング 100位以内
- ⑤ ~~日本スプリントランキング（試行開始後）3位以内~~

なお、選考された代表選手がアジア枠(*2)で出場可となった場合には、補欠の選手を代表選手に繰り上げる。

(*1)IOF特別枠：

下記IOF Competition Rulesの中にある"National Quota for FootO WOC and World Cup 2022" P.4に記載されているように、2018年アジア選手権スプリント優勝者 尾崎弘和選手がスプリント、ノックアウトスプリントそれぞれの予選への出場権を得ている。

<https://orienteering.sport/orienteering/competition-rules/>

(*2)アジア枠：

2022年5月1日時点のスプリントワールドランキングでアジア最上位の選手とする。

[2022年1月21日のIOFからの下記レター参照]

The decision is to amend Competition rule 6.6 which defines the number of entries which each federation may make to WOC 2022.

The text of the current rule 6.6 is:

6.6 In the Sprint and Knock-Out Sprint competitions, every Federation may enter up to 3 women and 3 men and, in addition, the current World Champions for the formats and the current Regional Champions for the formats and the current World Cup leader may be entered by their Federation(s).

An additional sentence is added to the current rule:

For any region where it has not been possible to conduct a Regional Championships in Sprint and/or Knock-Out Sprint after January 1, 2020, the highest ranked athlete in the region in the Sprint Orienteering World Ranking as of May 1, 2022, for women and men respectively, may be entered by their federation for the Sprint and Knock-out Sprint Competition.

以上